

経営比較分析表（令和4年度決算）

宮崎県 延岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	75.96	2.93	100.00	2,619

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
117,563	868.02	135.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,418	3.05	1,120.66

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和4年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率は100%以上で、累積欠損金も発生していません。今後も健全経営を持続していくことが必要です。

・経費回収率は100%を下回っています。このことは、現行の使用料収入では全ての汚水処理経費を賄えていないことを示していますので、将来を見据え、維持管理費用に対する使用料水準について再検討していく必要があります。また、維持管理費の削減や不明水（特に雨天時に汚水量が増加する現象）対策に取り組み、有収水量の確保に努めます。

・流動比率は100%を下回っています。このことは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えていないことを示していますが、負債の多くは建設改良費等の財源に充てるための企業債が占めており、これについては使用料等を原資として償還を予定しています。このことを踏まえた上で、支払能力を高めるためにも引き続き経営改善が必要となります。

・水洗化率は平均値よりも優位な数値で推移していますが、施設利用率は平均値を下回っています。これは、令和4年度農業集落排水処理区域であった行徳地区を効率的な汚水処理を目的に特定環境保全公共下水道に接続したため、水洗化率は上昇し、施設利用率は一時的に減少したと考えられます。

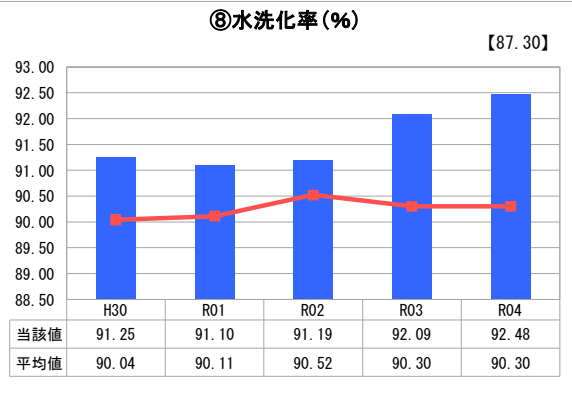
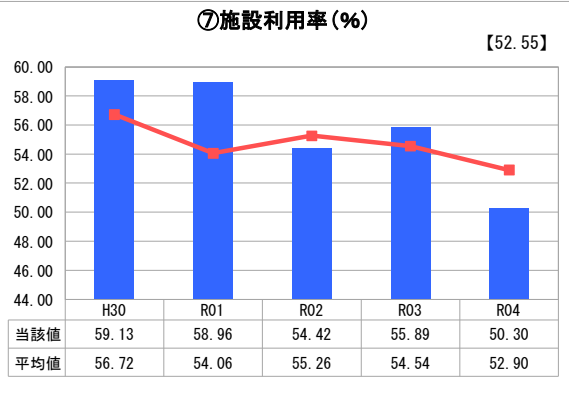
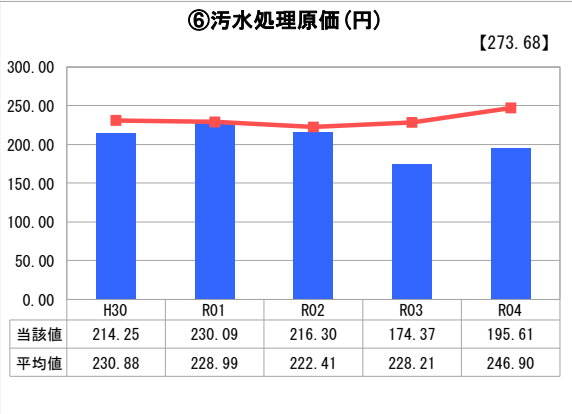
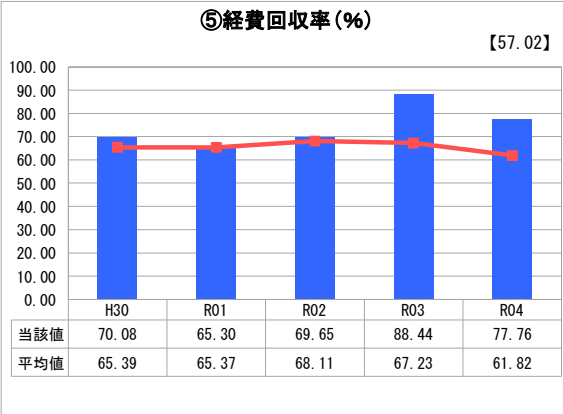
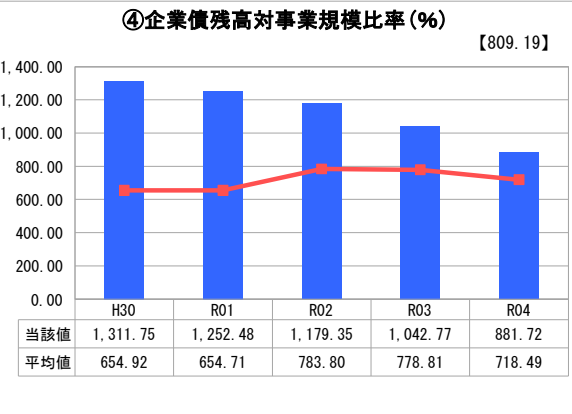
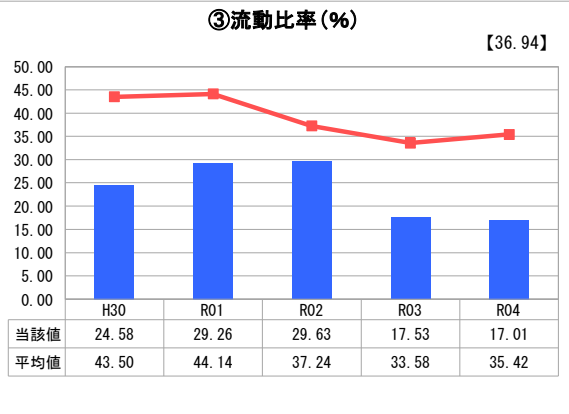
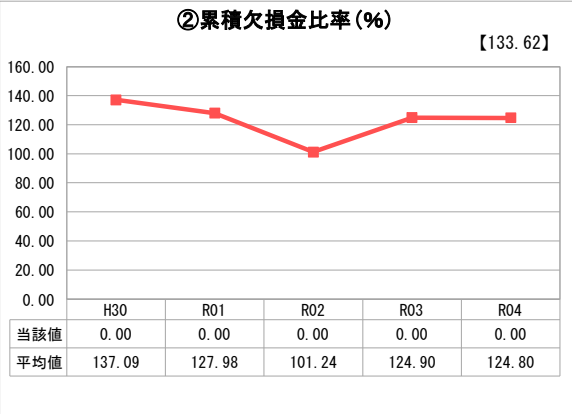
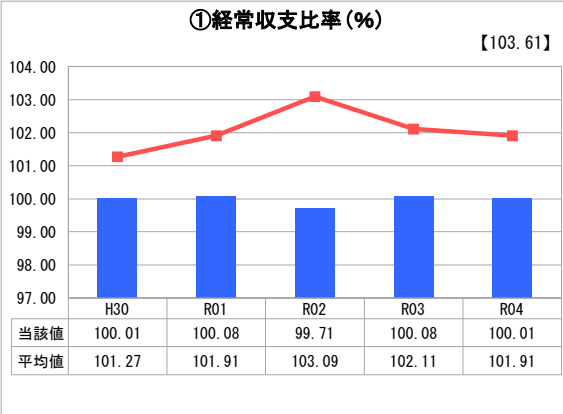
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、数値が100%に近いほど、保有資産が法定耐用年数に近づいていることを示しています。

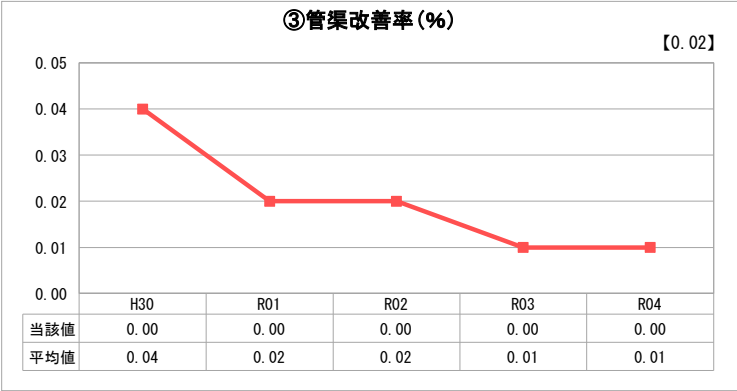
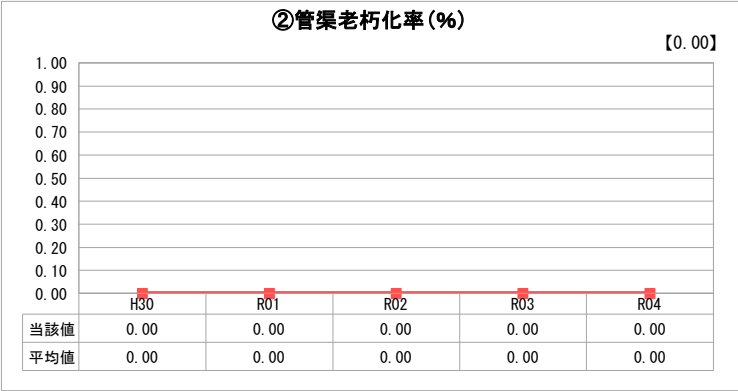
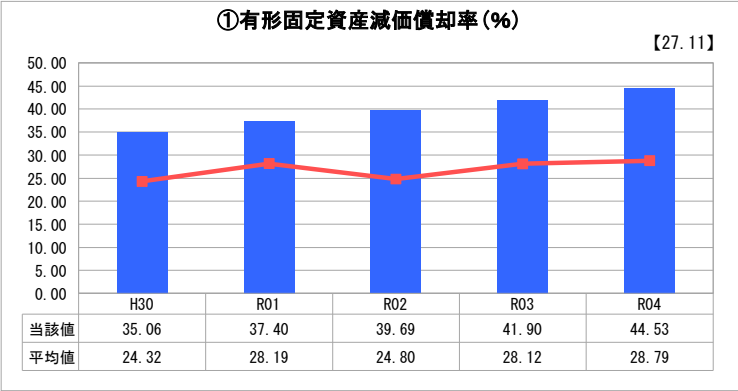
老朽化について、法定耐用年数を超えた管渠はないことから、現在必要な更新事業はない状況です。

今後の老朽化を見据えて、将来の更新費用の財源確保と投資計画の見直し等を行う必要があります。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。